

< 泉区 災害時における要援護者支援に関するアンケート >

自治会・町内会名 _____

連絡者 _____ 様 連絡先 _____

災害時要援護者とは…

災害時に家族などの支援が受けられず、自力での避難が困難な方を指します。
一般的には、高齢者・障害者・乳幼児・妊産婦・外国人などの方が該当します。

1 地域で実施されている取組についてあてはまるものすべてに☑をつけてください。
(複数回答可・過年度の取組も含む)

| | 項目 | 具体的な取組例 |
|--------------------------|------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> | 災害時要援護者の支援についての話し合いの実施 | <ul style="list-style-type: none"> • 役員会等での意見交換を実施 • 役員会等で区から事業説明を実施 • 単発的な講演会を開催 • 一部の役員等が講演会に参加 など |
| <input type="checkbox"/> | 災害時の支援活動の想定 | <ul style="list-style-type: none"> • 取組内容や活動方針の決定 • 役員等が要援護者の避難（支援）視点を加えた図上訓練（DIG 訓練、HUG 訓練等）やまち歩き等を実施 など |
| <input type="checkbox"/> | 地区内の意識啓発 | <ul style="list-style-type: none"> • 啓発看板を設置 • チラシ、パンフレット等の配布・回覧・掲示 • 総会、地域のイベント等で事業内容の周知 など |
| <input type="checkbox"/> | 要援護者名簿の作成・把握 | <ul style="list-style-type: none"> • 申込書等の配布、アンケートの実施等により地域で名簿を作成 • 区から同意方式又は情報共有方式の名簿を受領 • 名簿情報が転記された地図を作成 など |
| <input type="checkbox"/> | 災害時のルールや活動体制の決定 | <ul style="list-style-type: none"> • タオルや安否確認カード等を活用した安否確認の取組を実施 • 要援護者を特定せずグループ化するなど、緩やかな向こう三軒両隣方式の取組を実施 • 支援者を募り、組織を編成 • 関係機関との協力体制の構築 など |
| <input type="checkbox"/> | 日ごろからの活動体制づくり、見守り活動の開始 | <ul style="list-style-type: none"> • 役員等による個別訪問 • 要援護者を招いた交流会の開催 • 緩やかな見守り活動の中での災害時に備えた関係づくり など |
| <input type="checkbox"/> | 支援者と要支援者のマッチング | <ul style="list-style-type: none"> • 要援護者一人ひとりに対する支援者の決定 • 向こう三軒両隣のグループで要援護者情報を共有 など |
| <input type="checkbox"/> | 災害時要援護者を交えた避難訓練等 | <ul style="list-style-type: none"> • 要援護者を交えた安否確認訓練、救出救護訓練、搬送訓練等の実施 • 自治会町内会として要援護者の避難（支援）視点を加えた図上訓練やマップ作り、まち歩き（点検）を実施 など |
| <input type="checkbox"/> | その他 | <ul style="list-style-type: none"> • その他、地域での災害時の取組がございましたら、具体的にご記載ください。 |

2 要援護者支援取組を進めていくうえで課題等がありましたらお書きください。

[]

3 要援護者支援の取組について、「どのような取組をすればいいのかわからない」・「要援護者の把握の仕方がわからない」という自治会町内会に対しましては、御希望に応じて自治会町内会ごとの個別研修もしくは複数の自治会町内会での集合研修を実施させていただきます。御希望の有無についてご回答ください。（当てはまるものに○をお願いします）

- ① 個別研修を希望する（時期 : _____ 月頃）
- ② 集合研修を希望する（時期 : _____ 月頃）
- ③ 希望しない

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。